

S h i p
シ ッ プ

第12号
2023.6

PICK UP 企業

株式会社カネシヨウ中島水産

目次

- Pick up 企業／会社概要
- 技能実習生・特定技能性について
- 技能実習制度廃止!?(法制度の中間報告)
技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議

株式会社カネショウ中島水産

水産食品加工業

会社についてお聞かせください！

会社の事業案内



工場長 中島 陵司

イワシをメインに、白子漁港や日本各地で水揚げされた魚を一次加工して、二次加工業者へ出荷しています。

私たちの仕事は、魚の鮮度や状態を見極める力が求められます。鮮度や状態の良い魚は、人が食べる魚として扱います。魚に痛みがある時は捨てるのではなく、加工用としたり養殖場に餌として出荷されます。このように魚の選別とは、魚のランクによって出荷先を決めて、それぞれに合わせた状態で出荷することをいいます。どの魚も無駄にすることはありません。

また、冷凍する魚もあるので、その場合にも丁寧に下処理をしてから冷凍庫で保管をします。魚の種類にもよりますが、約半年ほど保管されるものもあります。

また、鈴鹿市漁業協同組合が運営する直販所「魚魚鈴」が、弊社の近くにあります。こちらでは一般のお客様が購入できる場所です。休日は大変賑わう所なので、鈴鹿の美味しい魚を知ってもらいたいという思いから、SNSでの発信のお手伝いもさせていただいています。

ご自身の仕事で大切にしていることはありますか？

「海の仕事=きつい」というイメージもありますが、私たちの仕事は海に出る漁師さんほど過酷な仕事ではありません。それでも、92歳で現役漁師という方もいらっしゃるので、まだまだ若手であり、率先して組合や地元での交流会には参加するようにしています。ですから、体を鍛えるということはしていませんが、仕事の原動力となっているのは「探究心」です。いろんなことに興味があり、とことん調べたくくなります。魚のこと、海のこと、鈴鹿のことなどを子供たちと図書館に行ったり、地元の人たちと話したりして追求しています。知るほどに興味が高まるので飽きることはありません。

プライベートにおいてもバイオリンを習ったり、サバゲーをやったり、演劇の経験を活かしてコスプレしたりと、仕事以外の人たちとの交流が増えています。

こうした趣味で繋がった人たちとの交流は、私たちのことを知ってもらう機会にもなるので大切にしています。

今、力を入れて取り組んでいることはありますか？

実は、伊勢湾（特に内海）が綺麗過ぎるために生物の生息環境が変わってしまいました。そのため、これまでの漁獲数を下回っていたり、思うように海産物が育たないという状態になっています。

現状をお伝えすると、新聞にも取り上げられましたが海苔の色落ち（黒くならない）、アサリが成長しないため激減しているのが代表的な状況です。最初に気づいたのは、日常の仕事の中です。漁獲量や魚や海産物の質を見て「これまでと違う」という違和感を感じました。

海が汚れるのは困りますが、排水の規制が厳しくても、それもまた海にとっては良くない環境となってしまうのです。

誰もが思いがけなかった結果だと思うので、今は現状を知って欲しいと思っています。そのために私自身が伝えていくことを心がけています。



今後の展望についてお聞かせください。

鈴鹿で取れる美味しい魚をもっと食べて欲しいから、地元を盛り上げていきたいなと思います。

また、海の現状については同業者の中でも知らない人が多いのです。異変を感じていながらも原因を知らなかったり、どうしたらいいのかわからないという人もいます。高齢を理由にすると失礼ですが、先輩方はSNSでの発信や交流会で伝えるというのは難しいので、アシストしながら漁業の仲間たちと漁場を守りながら、仕事をしていけたらと思います。

そして、次世代の人たちに伊勢湾の良さを伝えていけたらと思います。私の息子も魚が大好きですから、ずっとその思いが続くように残していきたいです。



技能実習生・特定技能生について お聞きしました。

技能実習生・特定技能生の人数：7人 受け入れの国：中国・ミャンマー

実習生の受け入れ状況と仕事について 教えてください。

弊社には、現在7人います。中国人が2人（うち一人が特定技能生）、ミャンマー人が5人です。全員が20代前半の男性です。

どの子も真面目で仕事に対する姿勢がいいので、とても助かっています。食品を扱う仕事なので、衛生面や掃除についてはそれなりに厳しいですが、これらも生活の一部としてではなく、仕事の一環として全員で取り組むことを徹底しています。誰か一人の負担にならないようにしています。

受け入れ時に心がけていることを教えてください。

弊社では、20代前半の男性を中心に受け入れをさせてもらっています。仕事の内容的にというよりは、若いうちに日本でいろんなことを経験して刺激になればいいなと思っているからです。

職場と寮を行き来するだけの生活ではなく、近くに大学があるので大学生と交流できる機会を作っています。

日本人だけでなく多国籍な人たちが集まる場所で、就労と学生という立場が違うことが良い刺激となり、言語や知的財産を増やすきっかけになっているようです。

コロナ禍で開催を控えていましたが、もう一度再開できるように大学側と調整しています。

実習生との接し方で大事にしていることはありますか？

日頃から、対等な関係性を大事にしています。職場の上司・部下みたいな関係ではなく、子供同士がじゃれ合うような、ちょっかい出すような感じです。男性は強い男に憧れるんですが、これは国が変わっても同じなので、格闘技の話や相撲の技を教えたりしています。つい先日も、私に力技で挑んできましたが、ピクリとも動かない、倒せないことに驚いていました。

その他にも、サバゲーの話や、一発ギャグなどでも盛り上がります。男同士だから、興味のあることや考えていることも分かりやすいので、自然と仕事しやすい環境にもなっています。



制度の見直しが検討されていますが、現場ではいかがでしょうか？

元々、人手不足を理由に制度を利用させてもらっています。なるべく長く滞在して仕事をしてもらえるように、特定技能生を目指して欲しいことも本人たちに伝えています。

彼らのご両親は「早く帰国してほしい」と考える方もいますが、特定技能生を取得したら昇給させるなど、ご両親を安心させられるだけの待遇を準備しています。

制度と現場の意見が良い方向へ進んで欲しいですね。



今後の実習生に期待していることを聞かせてください。

仕事に関しては、魚の選別や加工の技術は経験なので頑張っ欲しいなと思います。毎日、楽しく働いてもらえたら嬉しいですね。

そして、日本をもっと楽しんで欲しいです。そのための土台作りをしているので、彼らにというより、私ができることをしてあげたいなと思います。

SUZUKA 産学官交流会を通じて、地元大学との交流再開だけでなく講習会や、学びの場としていくのが目標です。

日本の家族として、一緒に楽しみたいなと思います。



フレンドシップ協同組合

技能実習制度廃止!?

技能実習制度及び特定技能制度の在り方に関する有識者会議

検討の視点

我が国の人手不足が深刻化する中、外国人が日本の経済社会の担い手となっている現状を踏まえ、外国人との共生社会の実現が社会のあるべき姿であることを念頭に置き、その人権に配慮しつつ、我が国の産業及び経済並びに地域社会を共に支える一員として外国人の適正な受入れを図ることにより、日本で働く外国人が能力を最大限に発揮できる多様性に富んだ活力ある社会を実現するとともに、我が国の深刻な人手不足の緩和にも寄与するものとする必要がある。このような観点から、技能実習制度と特定技能制度が直面する様々な課題を解決した上で、国際的にも理解が得られる制度を目指す。

検討の基本的な考え方

論点: 制度目的と実態を踏まえた制度の在り方

現状: 人材育成を通じた国際貢献

新たな制度:

- 現行の技能実習制度は廃止して人材確保と人材育成(未熟練労働者を一定の専門性や技能を有するレベルまで育成)を目的とする新たな制度の創設(実態に即した制度への抜本的な見直し)を検討
- 特定技能制度は制度の適正化を図り、引き続き活用する方向で検討し、新たな制度との関係性、指導監督体制や支援体制の整備などを引き続き議論

論点: 外国人が成長しつつ、中長期的に活躍できる制度(キャリアパス)の構築

現状: 職種が特定技能の分野と不一致

新たな制度:

- 新たな制度と特定技能制度の対象職種や分野を一致させる方向で検討(主たる技能の育成・評価を行う。技能評価の在り方等は引き続き議論)
- 現行の両制度の全ての職種や分野等並びに特定技能2号の対象分野の追加及びその設定の在り方について、必要性等を前提に検討

論点: 受入れ見込数の設定等の在り方

現状: 人材育成を通じた国際貢献

新たな制度:

業所管省庁における取組状況の確認や受入れ見込数の設定、対象分野の設定等は、様々な関係者の意見やエビデンスを踏まえつつ判断がされる仕組みとする等の措置を講じることでプロセスの透明化を図る

論点: 転籍の在り方(技能実習)

現状: 原則不可

新たな制度:

人材育成に由来する転籍制限は残しつつも、制度目的に人材確保を位置付けることから、制度趣旨と外国人の保護の観点から、従来より緩和する(転籍制限の在り方は引き続き議論)

論点: 管理監督や支援体制の在り方

現状: ・監理団体、登録支援機関、技能実習機構の指導監督や支援の体制面で不十分な面がある
・悪質な送出国が存在

新たな制度:

■監理団体や登録支援機関が担っている機能は重要。他方、人権侵害等を防止・是正できない監理団体や外国人に対する支援を適切に行えない登録支援機関を厳しく適正化排除する必要

■監理団体や登録支援機関の要件の厳格化等により、監理・支援能力の向上を図る(機能や要件は優良団体へのインセンティブも含め、引き続き議論)

■外国人技能実習機構の体制を整備した上で管理・支援能力の向上を図る

■悪質な送出国の排除等に向けた実効的な二国間取決めなどの取組を強化

論点: 外国人の日本語能力の向上に向けた取組

現状: 本人の能力や教育水準の定めなし

新たな制度:

一定水準の日本語能力を確保できるよう就労開始前の日本語能力の担保方策及び来日後において日本語能力が段階的に向上する仕組みを設ける

検討の視点

中間報告書で示した検討の方向性に沿って具体的な制度設計について議論を行った上、令和5年秋を目途に最終報告書を取りまとめる。



組合理念 世の為・人の為 人は石垣 人は城

フレンドシップ協同組合

フレンドシップ協同組合は「一人は万人の為に、万人は一人の為に」の精神の下、異業種間の総合扶助を目的に設立されました。企業であれ組合であれ、何のために組織を運営していくかという理念が必要です。その理念として「世の中の為」になる事業である事、「人の為」になる事業である事を掲げました。また、組織が大きくなるにつれ、どんなに素晴らしい理想があっても、どんなに立派な施設に入っても実行するのは人との考えが増すばかりです。人の大切さを自覚し、武田信玄公の教えに習って「人は石垣 人は城」をも併せて総合理念として掲げました。クレジットカードなどに永久不滅ポイントというのがありますが、この事業も永久不滅に継続させていきたい幸いです。



〒460-0008

名古屋市中区栄三丁目11番31号ガラスシティ栄5F

TEL: 052-262-3500 (9:00 ~ 18:00)

FAX: 052-262-3501

URL: <https://friendship.or.jp>